

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公表番号】特表2012-502962(P2012-502962A)

【公表日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-005

【出願番号】特願2011-527342(P2011-527342)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/43	(2006.01)
A 6 1 K	38/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/53	(2006.01)
A 6 1 K	31/426	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	31/343	(2006.01)
A 6 1 K	31/4152	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/192	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 K	37/48	
A 6 1 K	37/50	
A 6 1 K	31/519	
A 6 1 K	31/53	
A 6 1 K	31/426	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	31/343	
A 6 1 K	31/4152	
G 0 1 N	33/50	A

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月14日(2012.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

IL 1 駆動性の肺病態の予防および/または治療に用いるための医薬組成物であつて、哺乳類において尿酸レベルを低下させることができる化合物を含んでなる、医薬組成物。

【請求項2】

前記IL 1 駆動性の肺病態が、肺炎症、慢性線維症、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、および間質性線維症などの肺線維症、ならびに自己免疫由来の肺病態からなる群より

選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記 I L 1 駆動性の肺病態が、線維症および呼吸不全を引き起こす肺炎症である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記化合物が、キサンチンオキシダーゼ阻害剤、ウリカーゼ若しくは尿酸オキシダーゼ、若しくはそれらの機能断片、または、尿酸排泄性化合物若しくは腎臓による尿酸排出を増加させる尿細管有機アニオントランスポーターの阻害剤からなる群より選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記キサンチンオキシダーゼ阻害化合物が、アロブリノール、アザプロバゾン (3-ジメチルアミノ-7-メチル-1,2-(n-プロピルマロニル)-1,2-ジヒドロ-1,2,4-ベンゾトリアジンニ水和物、置換チアゾロピリミジン、1位、2位、若しくは4位にて置換アルキル基で置換されていてよく、かつ、3位および5位に芳香族環を有する1,2,4-トリアゾール化合物、フェブキソスタット、またはそれらの水和物若しくは塩からなる群より選択される、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記ウリカーゼまたは尿酸オキシダーゼが、ラスブリカーゼなどの組換えウリカーゼ若しくは尿酸オキシダーゼ、またはそれらの機能断片である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記ウリカーゼまたは尿酸オキシダーゼがペグ化されている、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記の尿酸排泄性化合物若しくは腎臓による尿酸の排出を増加させる尿細管有機アニオントランスポーターの阻害剤が、プロベネシド、ベンズプロマロン、スルフィンピラゾン、トロンボキサンシンターゼ阻害剤および/またはトロンボキサン受容体拮抗剤からなる群より選択される、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記組成物が、静脈内注射、筋肉内注射、または経口によって投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

患者が I L 1 駆動性の肺病態を示しているか、または I L 1 駆動性の肺病態を発症するリスクを有するかをインピトロで同定する方法であって、以下の工程：

- a ) 検査される患者から、血清または血漿サンプルを採取する工程；
  - b ) 尿酸のレベルを測定する工程；および
  - c ) 検査される患者について得られた尿酸レベルを、正常患者および/または I L 1 駆動性の肺病態を示す患者について得られた血液サンプル中の尿酸レベルと比較することによって、前記患者がそのような病態を示しているか、またはそのような病態を発症するリスクを有するかを同定する工程
- を含んでなる、方法。

【請求項 11】

I L 1 経路に関連する肺病態（「 I L 1 駆動性の肺病態」）の治療のための化合物をスクリーニングする方法であって、試験される前記化合物が、キサンチンオキシダーゼ阻害活性、ウリカーゼ活性、若しくは尿酸オキシダーゼ活性を有するかどうか、または尿酸排泄性化合物であるか、若しくは尿酸の腎臓による排出の増加をもたらす尿細管有機アニオントランスポーターの阻害剤であるかを同定する工程を含んでなる、方法。